自己多血小板血漿（PRP）注入療法　施術説明書および同意書

|  |
| --- |
| はじめに  ・この書類には当クリニックでPRP治療を受けていただくにあたり、ご理解いただきたいこと、ご注意いただきたいことについての説明が書かれています。内容を良くお読みの上、ご不明な点がありましたら遠慮なくお尋ねください。  ・治療を受けることに対して同意した場合であっても、投与までの間でしたらいつでも治療を取りやめることができます。  ・血液を採取してPRPを投与するまでの間に治療を中止することも可能です。ただし血液採取に使用した消耗品の費用は請求させていただくことがあります。  ・患者様には治療に関する情報の詳細を知る権利があります。ご不明な点がありましたら遠慮なくお尋ねください。 |

* PRPとは

PRP は Platelet-Rich Plasma を略した名称で、日本語では多血小板血漿と言います。

PRPは血液から血小板を濃縮することにより、血小板に含まれる活性の高い成長因子を多く含みます。血小板は血液 1μL に 10～40 万個含まれ、血液全体に占める割合は 1％以下と言われています。

血小板は、血管が傷ついたとき、傷ついた場所に集まって血を固める働きがあります。その際、血小板から多量の成長因子が放出されます。この成長因子は傷ついた組織の修復を促します。

血小板の放出する成長因子の効果により、組織の修復が早まるほか、治りにくい組織の修復が期待されます。この効果を利用する治療方法がPRP治療です。

* 治療の目的

PRP治療はご自身のPRPを患部に投与することにより、患部の疼痛の軽減や損傷した組織の修復を目的とする治療です。

* 治療のメリット

自分の血液から作るためアレルギー反応が起こりにくい。

何度でも受けることができる

治療手技が簡単で日帰りでの処置が可能である

* 治療の短所・デメリット

変形性関節症を根本から治す治療ではない

投与から数日間は活発な細胞の反応が起こり炎症（痛み、熱感、赤み、はれ）を伴うことがある

保険外診療である

* 治療効果と治療回数、他との比較

　変形性膝関節症の治療には代表的なものにヒアルロン酸注入があります。ヒアルロン酸は関節内で保水効果を発揮しクッションのような働きをして痛みを和らげますが、やがて吸収されて消えてしまうため定期的に打つ必要があります。変形性膝関節症に対するPRP療法は、ヒアルロン酸注射やステロイド注射と異なり、患者様ご自身の治癒力を利用し炎症を抑え、組織の修復等を目的とした治療法です。個人の治癒力を利用しているため完全に膝関節の創傷治癒を改善するものではなく、徐々に改善するなど、治療効果には個人差があります。PRP療法の回数に上限はありませんが、程度や症状によっては複数回の治療が必要な場合もあります。

* 施 術 に 関 す る 説 明

変形性膝関節症の治療を目的とした自己多血小板血漿（PRP）の患部への注入療法を行います。

1. 採血：まずPRPを作成するための血液を患者様より採血いたします。

ひとつの膝関節に対して通常約２０mlを専用採血管を用いて採血いたします。  
（血液約２０mlから2mlのPRPを抽出します。）

症状に応じ採血量を増減することがあり、２０ml〜１００ml採血する場合もあります。

1. 分離：遠心分離機を用いPRPを抽出します。
2. 投与：抽出したPRPを患部に注入します。　通常の変形性膝関節症では20mlの血液から抽出したPRP２ccを注入します。関節炎症状が強い場合に対してはPRPの広がりを考慮して増量が可能ですが、PRPの投与量は10mlを上限とします。また、施術後はPRPが関節内にとどまるように関節を包帯やサポーターなどで圧迫しながら局所の安静を保ちます。１０分ほど安静にしていただき、問題がなければ帰宅します。

* 注意点

施術当日：できるだけ安静にしていただきます。関節外へのPRPの広がりを抑えるため

弾性包帯で膝関節を軽度圧迫します。当日は室内歩行程度にとどめ、長距離の歩行や激

しい運動、マッサージなどは避けてください。また禁酒禁煙をお願いいたします。

翌日以降：PRPの治癒促進の効果により施術した膝が一時的に熱感を持ったり、軽い痛みを感じることがありますが、自然に消失します。

１週間後：診察により治療効果や副反応をチェックします。

３〜４週間後：診察を行い二回目の注射を行うか判断します。

* 治療費用

　PRP療法は２０１８年現在　保険が適用されない自由診療の治療になります。

当院では　変形性膝関節症に対しては、

　　　　一回の治療（採血量20ml）につき８万円（別途消費税）です。

　　　　尚、採血量が１０ml増すごとに追加で４万円（別途消費税）が発生いたします。

血液を採取してPRPを投与するまでの間に治療を中止することも可能です。

ただし血液採取に使用した消耗品の費用は請求させていただくことがあります。

* **個人情報保護について**

「個人情報の保護に関する法律の施行」に基づき、当院には、個人情報取扱実務規程があります。患者様のお名前やご病気のことなど、個人のプライバシーに関する秘密は固く守られ、外部に漏れる心配はありません。 本治療による成果については、今後の治療に役立てるために、医学に関する学会、研究会などでの発表、論文などでの報告することがあります。そのような場合においても、患者さまのお名前など、個人の秘密は固く守られます。

|  |
| --- |
| * その他 |

当院では治療を受けられた全ての患者様に対して、術前術後に施術部位の症状の把握、画像診断をして治療効果を判定していきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

* お問い合わせ先

この治療の内容に関してわからないことや疑問、質問などがありましたら遠慮せずにお尋ねください。

　　　　　　　　Dr.KAKUKOスポーツクリニック

　　　　　　　　担当医：

　　　　　　　　連絡先：東京都渋谷区猿楽町９−８−１１１

03-5784-1101

|  |
| --- |
| **同意書**     * 個人情報の保護等に関する事項について理解しました。 * 上記書面を十分に理解し、貴院における治療方法の説明を受け疑問点については質問し、担当医より回答を得た上で納得して治療を受けることを認めます。      　　　　　　　　年　　　　　　　月　　　　　　　　日    本人氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（自筆署名）  緊急連絡先　氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号：  保護者・代理人　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（自筆署名）  　＊本人が未成年または同意能力がない場合のみ署名して下さい。  説明医師：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（自筆著名） |